

H30.1.29《近畿地区》 「ワクワク！ドキドキ！」高めよう明日からの保育実践

講師：岡上 直子先生（元十文字学園女子大学教授）

演題：「幼稚園教育要領の改訂と保育実践」

寒さが厳しい今年の冬ですが、210名の先生方が神戸に参集し、岡上先生のお話に聞き入りました。

新教育要領改訂の理念については、これまでに何度も繰り返し説明を受けてきましたが、改めて気づかせていただくことが多くあり、教育要領を自分の保育実践と照らして読み解く大切さを実感しました。

例えば、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の解説文には、3つの資質・能力の要素が貫かれていることにお聞きし、改めて読み返しました。すると、短い解説文の中に、

「知識・技能の習得」「思考力・判断力・表現力の育成」「学びに向かう力・人間性の涵養」の3つの資質・能力が簡潔に盛り込まれており、日々の子供の姿と結び付けながら読み進めることができました。

「主体的・対話的で深い学び」については、「本当に対話するだけではない対話」の中で学ぶ子供の学びを見取る教師の力量について、深く考えさせられました。「自分との対話」「物との対話」など、子供の心の中の対話を聞き取る教師の感性を磨く必要性を痛感しました。

また、「協同性の育ち」においては、子供同士の関係を見極める教師の力量が大きく関与するとのお話でした。子供の育ちを捉える評価の視点や、実践研究から得られたデータを分かりやすく示していただき、聞き入りました。

パワーポイントに映し出される写真は、子供達の生き生きとした表情が印象的で、子供の興味関心に寄り添う教師の環境構成と、子供の「ワクワク！ドキドキ！」がダイレクトに伝わってきました。

教師の指導力と、教師が自分自身を振り返る評価の重要性を実感した一日でした。保育を楽しむこと・保育者として自分自身を真摯に振り返る謙虚さを忘れないこと……。岡上先生の、温かいお人柄と、保育者としての専門性を磨いてほしいとのエールを受け取り、背筋がぴんと伸びました。岡上先生、ありがとうございました。



『近畿はひとつ』 神戸市 兵庫県民会館にて